

なみまるくん

うみ・なかま
コミュニケーション

Hokkaido Gyoren Magazine Number 271 May 2011

5

北海道
ぎょれん



特集

ぎょれんの中期的事業推進方向・
平成23年度事業計画 ～後編～

北海道ぎょれんウェブサイト
<http://www.gyoren.or.jp/>

- 1 海ひと夢
全国漁業協同組合連合会 常務理事 長屋 信博さん

- 2 **特集** ぎょれんの中期的事業推進方向・
平成23年度事業計画 ～後編～

- 10 福島第一原発放射能汚染水放水に対して即刻抗議

- 12 こんにちはは久美子で～す
別海漁協 福原 秀則さん ご家族

- 13 頭すっきり!! ブレイクタイム

- 14 なみまるインフォメーション・サハリン写真紀行

別海の港にも春が来ました

- 16 おまかせ設計センター

- 17 浜だより



被災した浜の復興に向け全精力を傾けます

全国漁業協同組合連合会
常務理事

長屋 信博さん

大震災からの復興に向け 総力を挙げて取組んでいます

3月11日、我が国を襲った東北地方太平洋沖地震と大津波により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

震災直後に「JFグループ東北地方太平洋沖地震漁業・漁村災害・復興対策本部」を立ち上げ、一日も早い復興に向けJFグループ総力を挙げた取り組みを始めました。被災地の浜からは、「海は生きている、沈んだ船やガレキをどけて、海に行けるようにして欲しい、早く船が手に入るようにして欲しい」という切実な声が上がっています。漁村の被災者の生活救済は、漁業を再開することです。一人でも多くの漁業者が漁業を継続し、水産物の安定供給という使命を果たせるよう、緊急かつ特別な政策と予算編成を求めています。

放射能汚染水放水に対し 強い憤りを覚えています

4月4日、政府は福島第一



原発施設内の放射能汚染水を、私たち漁業関係者に何の相談もなく大量に放水することを決定し実行しました。私たちは東京電力の関係者に対し、放射能汚染水の海への流出を行わないよう、再三にわたり強く申入れてきましたが、今回の事態となり強い憤りを覚えています。このような重大な事態を引き起こした、国と東京電力の責任追及はもちろんのこと、日本の漁業が将来にわたり続けられるよう、今回の放射能汚染によるあらゆる問題への対応、関係者の被る全ての被害に対する補償を、

国と東京電力の責任において実施することを求めています。

「里海」を育て 「魚屋」を復活

私は折に触れて、北海道のニシンやマツカワの資源回復の話をしてきます。種苗放流数を増やして漁業者自身が資源管理をしっかり行い、藻場・干潟など海の環境を整備することで資源が復活してきた良い例です。これはただ漁獲を制限するだけの管理では資源は戻らず、人が手をかけ育てる「里海」の大切さを物語っています。私が育った東京の下町は小さな漁村でしたが、魚屋さんが旬の魚や食べ方を教えてくれました。里海からの魚を魚屋さんが教えてくれる、そんな日が来ることを心待ちにしています。

私は全漁連で長く漁政の仕事に携わり、水産基本法制定や隣国との漁業問題の解決などに関わってきました。これからも未曾有の震災被害に苦しむ浜の復興に向け、浜の声、浜の願いが国政に反映するよう全精力を傾ける所存です。

ぎよれんの中期的事業推進方向・ 平成23年度事業計画 ～後編～



今回も先月に引き続き、ぎよれん西副会長に、平成23年度事業計画について伺っています。販購買事業を中心にご紹介します。

なお、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害や、福島第一原発の動静如何により、今後の水産物生産・加工・流通が大きく影響を受けるため、今年度のぎよれんの事業計画は、見直しをする可能性があります。



ぎよれん 西副会長

販買事業について

世界的な水産物需要の増大により、急激な円高下においても輸出が堅調に推移する一方で、国内市場はデフレによる消費低迷・低価格志向が続き、二極化の様相を呈しています。本年度においては中期的視点に立って、基本となる国内消費の安定確保と併せ、海外輸出機能を強化することにより、国内外の需給動向を見極めた中での道産水産物の魚価・流通安定化に取り組んでいきます。

1. 市場・鮮魚事業

産地買受人ならびに消費地荷受の買付け機能の低下に加え、デフレによる需要低迷、低価格競争が激化するなか、更なる魚価対策としての処理・流通対策の強化が必要となっています。本年度については、中期的視点に立ち、浜と一体となった付加価値鮮魚販売を推進するなど、一般魚種の流通対策を更に拡充・強化していきます。

(1) 漁協系統販買事業の根幹である市場全利用 共販の推進

(2) 広域的な鮮魚販売の強化を含めた漁協系統 としての鮮魚事業の拡充

【地域基幹魚種対策】

① 水揚げ集中時における流通および加工機能の強化



【多獲性魚種対策】

- ② 産直鮮魚事業を含めた総合的な取り組み
 - ① 漁協系統工場・協力工場との連携による加工処理体制の充実
 - ② 生鮮向け・加工原料向け等の計画的な加工・販売体制の構築
- 【一般鮮魚対策】
- ① 浜と一体となった漁協系統鮮魚事業の拡充強化と地域・魚種のブランド化支援
 - ② 漁協（部会）との連携による付加価値向上対策の推進
 - ③ 末端ニーズに対応した加工鮮魚（生開き等）の取組み強化と新たな鮮魚需要開拓（生食刺身向等）の推進
 - ④ 北海道ブランド鮮魚としての海外輸出の定着化に向けた取り組み

【未利用魚種・国内評価の低い魚種対策】

- ① 豊漁時における魚価維持対策としての製品開発の促進
- ② 海外輸出の推進による新たな販路の開拓
- ③ 漁協との連携による市場販売債権の保全対策の強化
- ④ 水揚げ情報等のネットワークシステム構築の検討
- ⑤ 産地市場連絡会議の適宜開催による情報提供機能の強化と地域共通課題の協議促進

2. 品目別対策

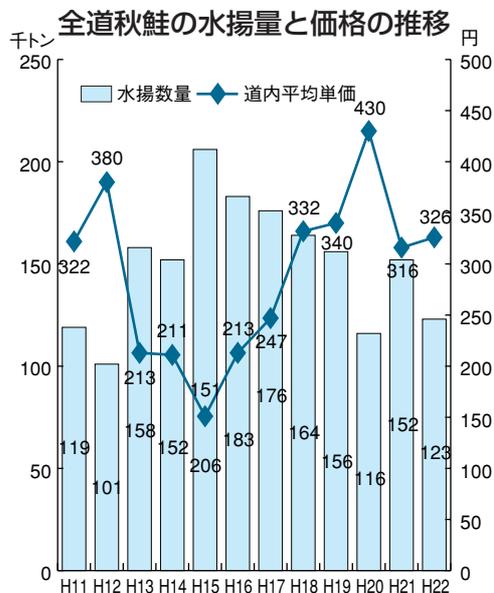
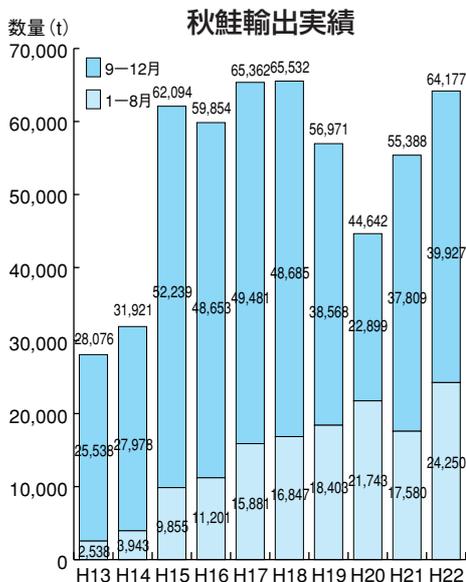
秋 鮭

昨年度の全道水揚げは、過去10カ年平均を下回る12万3千トンにとどまり、水揚げ金額も400億円と昨年を約2割下回りました。親製品においては、急激な円高にあっても輸出が堅調に推移しましたが、価格の上昇もあり、今後の消流への影響が懸念されています。卵製品については、当初、消流停滞が懸念されていましたが、輸入・三陸を含めた国内供給量の減少から、堅調に消流しています。秋鮭を取り巻く環境はデフレ・円高の逆風が予想されますが、本年度においても魚価の安定を図るため流通対策を効果的に実施し、国内外の需要の拡大と定着を図っていきます。

親製品

- (1) 国内販売の拡大
 - ① 量販店等で定着した生フィレなどの生鮮流通の拡大
 - ② 輸入鮭鱒に対抗した熟成フィレ、骨取りフィレ（トリムC）等のこだわり製品の計画生産ならびに消費者ニーズに対応した簡便調理品等の新商品開発による消費拡大への取り組み
- (2) 輸出対策の強化
 - ① 中国向け輸出の継続と東南アジア等への海外販路拡大
 - ② 欧米向け直接輸出を視野に入れた中期的な生産基盤整備への取り組み
 - ③ 水産工コラベル(MSC)認証取得ならびに認証後の取扱体制の整備に向けた取り組み





卵製品

- ① 「旬」「生鮮」の訴求による生筋子等の生鮮流通の拡大
- ② いくら製品の国内販売促進活動の強化・推進
- ③ いくら製品の消費と価格の安定に向けた需給調整としての輸出事業の取り組み

ほたて

北海道のほたての生産は、生産環境の変化による稚貝の斃死、ザラボヤなどの付着物被害、餌不足等による成長不良などの影響により、安定的な水揚げが齎かされています。このため本年度においても、行政機関との連携により、ほたて漁業振興協会「専門委員会」の答申内容に基づき、安定的な生産体制の構築に向けた課題解決に取り組みます。また、製品消流は、水揚げの急激な変動による不安定な生産に加え、円高・消費低迷・デフレ等で依然厳しい状況にあることから、国内外の流通対策を継続的に推進し、価格ならびに消流の安定化を図っていきます。



(1) 生産環境の変化への対応策

ほたて漁業振興協会、道並びに水産試験場との連携による生産環境の原因究明等の課題解決に向けた取り組み推進

(2) 消流安定化に向けた国内・外販売対策の強化

① 国内販売対策

ア. ほたて漁業振興協会と連携した全国的な販促キャンペーン展開による消費確保に向けた取り組みの継続

イ. 消費量の少ない西日本エリアの消費拡大に向けた生鮮品販促対策の継続実施

ウ. 干貝柱の国内販売拡大に向けた食品メーカー・業務筋向け加工原料としての販売拡大

② 海外輸出対策

【輸出基盤整備】

ア. 関係行政機関等との連携によるEU向け生産海域拡大への取り組み

イ. 欧米向けHACCP工場の認定促進に向けた取り組み

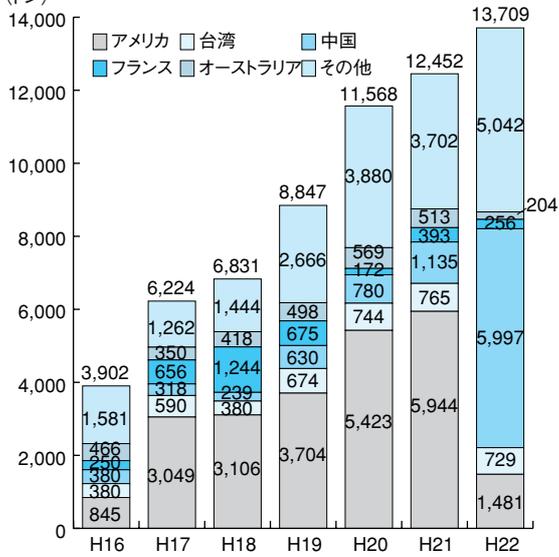
ウ. MSCエコーラベルの早期認証取得と認証後の取扱体制整備による国際競争力の強化

【輸出市場の拡大】

ア. 米国向け玉冷輸出拡大に向けた水漬け加工原料市場以外への北海道産を訴求した新規市場開拓の推進

イ. 噴火湾ほたて処理配分の多様化のための中国・東南アジア向け冷凍片貝ほたて

日本のほたて輸出量実績(暦年、生鮮・冷凍)



全道ほたての水揚量と価格の推移



ウ・干貝柱の価格・消流安定に向けた香港・中国市場以外の海外華僑市場向け輸出の拡大の市場開拓

昆布
昨年度の全道生産量は、1万9千トンと4年連続で2万トンを割りこみました。産地価格は、景気低迷と消費の減少から、低下傾向にあり、特にだし系昆布の消流悪化が顕著になっていきます。加えて貿易自由化への動きが急浮上し、昆布漁業への影響が懸念されています。本年度においては、関係漁協・行政機関等と連携し、昆布漁業の発展と安定に向け、生産基盤の整備を含めた振興策等について協議を継続するとともに、だし系昆布を中心とした消費回復策と消流の安定化に取り組んでいきます。



(1) 生産基盤の強化に向けた取り組み

① 貿易自由化の動向を見据えた昆布漁業振興策に対する組織的協議の推進

② 関係漁協・行政機関等による「昆布生産安定対策会議」の検討結果を踏まえた生産現場の諸課題への対応

③ 昆布の安定生産や流通コストの削減を図るための作業工程の簡素化・等級の見直し等の協議・検討

(2) 消費回復に向けた取り組み

① 近年の昆布消費動向の変化に対応した主要銘柄別・等級別の需要実態調査の実施に基づく販促活動の推進

② 関係団体との連携による需要の落ち込みが顕著な「だし系昆布」に重点を置いた消費拡大事業の推進

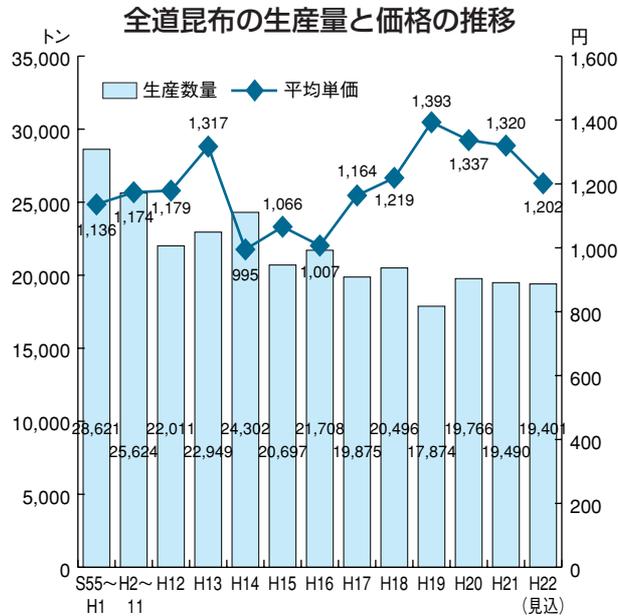
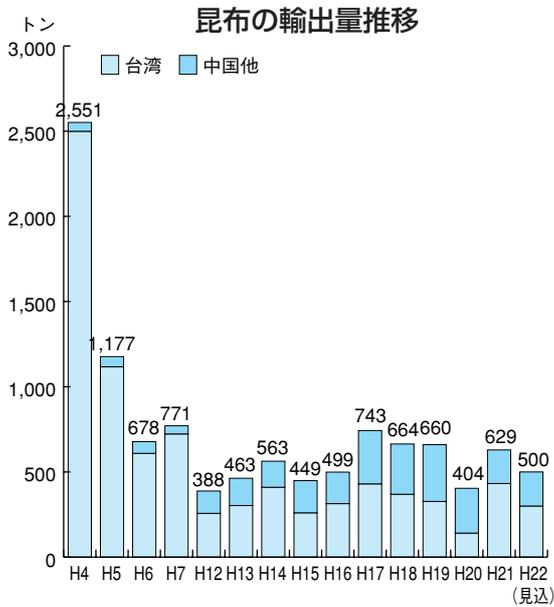
(3) 漁協系統としての加工・販売機能強化に向けた取り組み

① 本会ならびに関連会社における一次加工処理機能の拡充による昆布・加工流通対策の強化

② 本会消費地支店・関連会社の販売機能強化による昆布ならびに昆布加工製品の国内外販売対策の推進

(4) 秩序ある輸入昆布の取り進め

北海道産昆布の安定流通化に向けた、日本昆布協会・全国調理食品工業協同組合ならび



に輸入相手国との綿密な情報交換による秩序ある輸入の継続推進

3. 産地加工機能強化

産地加工は前浜原料事情が変化をみせる中、周年稼働確保、二次・三次加工への対応、生産コスト削減、安全・安心への品質衛生管理、販売ルート確立等、様々な課題を抱えています。魚価・流通の安定化を図る上で産地加工機能の強化は不可欠であり、引き続き漁協システム等との連携を促進し、稼働の安定に取り組んでいきます。あわせて、安全・安心の確保に万全を期し、品質衛生管理機能の強化を図っていきます。

- (1) 本会の広域流通機能を生かした大量水揚げ時および魚価下落時の処理対策の推進
本会直営工場・漁協システム工場および提携・協力加工業者との連携強化による広域的な原魚処理対策、魚価維持対策の推進
 - (2) 道産水産物の安全・安心と鮮度へのこだわり商品開発ならびに低コスト商品等の開発促進
 - (3) 地域基幹魚種対策における魚価維持・消費促進等の加工機能の発揮
 - (4) 品質・衛生管理レベル向上に向けた定期的な工場点検の継続と改善指導体制の強化
 - (5) グループ商品及び本会取扱商品の表示適正化等に向けた取り組み強化
- ① 本会取扱商品の表示内容及び包装資材の安全性に係わる管理強化

4. 製品販売対策

【国内販売対策】

グローバル化が進む中、浜値の安定化対策を実施する上で、国内はもとより海外への需給動向を適確に見据えた中での流通対策の推進が重要となっています。国内販売対策としては、荷受・問屋、生協・量販店、中・外食などのマーケティング戦略の強化と消費動向に則した販売戦略の推進に取り組んでいきます。あわせて、関連会社と一体となった消費地営業機能の強化を図ります。

- ② 食品表示検定協会の「食品表示検定」資格取得促進による表示適正化への取り組み

- (1) 末端実需先を見据えた全国的な販売ネットワークの強化に向けた取り組み継続
- ① 業態別エリアマーケティング戦略の強化
- ② 各種流通対策・消流宣伝事業と運動した提案型営業強化
- ③ 「道ぎよれん会」の春・秋定期開催による情報提供の継続
- (2) 異業種との連携による組織的取り組み強化
- ① 冷蔵メーカー・食材問屋等との組織的な取り組みによる販売拡大
- ② 水産以外の食品メーカーとのコラボレーションによる新たな需要開拓の推進
- (3) 物流経費等の流通コスト削減に向けた取り組み



根室新工場(株)ぎよれん道東食品)
さんま加工ライン



石狩新工場(株)ぎよれん総合食品)
フライ自動化ライン

- 組み
- ① 生鮮魚介類の取扱拡大によるスケールメリット創出と集荷配送効率化等のコスト削減への取り組み
 - ② 冷凍品取扱における輸送・保管コスト削減に向けた取り組み継続

(4) 本会ならびに関連会社における商品トレサビリティシステム(*1)導入に向けた対応

① 新システム導入開始によるトレサビリティ管理体制の確立

② 秋鮭・ほたてのMSC認証後のトレサビリティ管理体制の検討的対応

(*1) 食品がいつどこで誰によって水揚げ・加工され、どんな流通経路をたどって消費者に届けられたかという生産履歴情報がわかるシステムのこと。

【海外輸出対策】

世界的な水産物需要の増大により、我が国の買い負け現象が拡大しています。道産水産物の魚価・流通安定化を図る上で海外市場は有力なマーケットとなっており、この間実施してきた輸出対策を更に強化し、新たな市場開拓を含め、安定した供給体制の確保に向けた取り組みを推進していきます。また、輸出促進のため、輸出基盤整備としてEUHACCやMSC対応に組織的に取り組んでいきます。

(1) 原材料輸出と海外末端実需者向け製品の販売対策の強化

① 漁協等との連携による生鮮魚介類・加工品の輸出機能の強化

② 海外における商談会への参加促進による

新たな販路開拓と情報収集の継続

(2) 輸出促進のための国の補助事業の有効活用による新市場開拓の推進

農林水産省・経済産業省の輸出支援事業の有効活用による輸出事業の拡大

(3) 海外取引先(中国・韓国・米国等)との更なる組織的取り組み強化

本会および関連会社による直接貿易の量的拡大に向けた取り組み

(4) 行政・漁協と一体となった輸出基盤の整備

① EUHACCPI工場認証をはじめ、各国の衛生基準対応の整備と拡充

② MSCの早期取得推進による海外市場における道産水産物の差別化への取り組み

5. 消費宣伝事業

消費者の魚離れが進む中、魚介類全般の消費は減少傾向となっており、魚価・流通対策を推進していく上で大きな課題となっています。このため、本道の基幹魚種である、秋鮭・ほたて・昆布等については、関係団体との連携により、需要喚起に向けた宣伝・販促活動を継続・強化していくほか、その他の魚種についても消費拡大に向けた取り組みを継続していきます。

(1) 消費地における消費動向を勘案した中での販売戦略と一体となった宣伝・販促活動の

継続

- (2) 大手調味料メーカー等とのタイアップによる共同販促の継続と規模拡大に向けた取り組み
- (3) 地域毎の消費実態に応じたイベント開催等による地域集中型宣伝の実施
- (4) カレー・シチュー等、「普段の料理メニュー」のPR活動による利用拡大への取り組み
- (5) 道内・道外の小学生や幼稚園児等を対象とした道産水産物の理解を深める食育活動の推進（親子料理教室、学習会、給食への食料提供等）

購買事業コスト

厳しい漁業環境が続くなか、石油製品や漁業資材の価格が上昇傾向にあり、漁業経営を圧迫しています。このため系統購買事業の充実に、燃油の取扱体制の強化を図るとともに、系統ブランド資材への切替を通じた漁業経営コスト削減に取り組みます。

- (1) 石油製品
 - ① 更なる系統利用率向上による、仕入ならびに価格牽制機能の強化
 - ② 需要構造の変化に対応した系統燃油施設の計画的整備（新設・撤去・油種転換）の実施ならびに保全管理体制の強化

(2) 系統ブランド資材

① 系統ブランド資材への切替促進を通じた取扱ボリューム拡大による価格低減化への取り組み

② 「系統ブランド資材評価・推進委員会（仮称）」設置による地区需要・ニーズに対応した新商品・新仕様品開発への組織的取り組み

③ 漁協購買部門マリノサポート(株)と連携した重点普及地区の設定等による、地域実態に応じた組織的普及活動の強化

(3) 魚函

環境・衛生に配慮した、「ポリ魚函（再生品含む）」の普及拡大

(4) 施設関連事業

① ぎょれん設計センター(株)との連携による漁協施設整備計画に対する総合的コンサルタント機能の発揮（計画・積算・補助申請事務）

② 会員・生産者向け、省エネ・省力化機器（システム）の開発普及

(5) その他

① 購販推進委員会、漁協各種部会との連携強化

② 購買専門委員会、全道漁協購買事業推進会議、地区漁協購買担当者会議の継続開催

③ 漁協職員を対象としたメーカー視察、資材研修会の実施

④ 「購買情報」の適宜発行による、購買関連情報伝達

組織強化・広報活動について

浜の協同組合意識の希薄化傾向が懸念されることから、漁協・系統組織一体となって協同組合精神の高揚に向けた運動を強化していきます。あわせて、各種研修会、交流会活動などを通じて浜のリーダー育成に取り組みとともに、女性部・青年部活動強化の一環として、食育活動・魚食普及活動を継続・推進します。

(1) 組織強化・購販活動の推進

本会が作成した「協同の力」の啓発DVDの活用による、購販全道・地区委員会や各種研修大会等での協同意識の高揚

(2) 浜と連携した食育活動・魚食普及活動の推進

青年部・女性部の「漁師さんの出前授業」や「浜のおかあさん料理教室」の継続開催による活動の推進

(3) 広報活動の充実

広報誌「なみまるくん」を通じた全道の漁業者に対する購販・指導関連情報等の提供と内容の充実



昨年100回を迎えた
浜のおかあさん料理教室



1月に行われた
全道漁協青年部大会

経営体制の強化

企業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、浜からの負託に応え、各種対策事業を推進していくためには、安定した経営収支の確保と財務基盤の充実が不可欠であることから、更なる経営体制の強化を図ります。また、企業の社会的責任の重要性が一段と高まっており、リスク管理等に対し組織を挙げた取り組みを進めていきま

す。さらに、連結決算・連結経営の導入を踏まえ、関連会社の経営健全化と本会との一体的経営による更なる機能強化と役割発揮に取り組みます。

(1) 安定収支の確保と財務基盤の強化

- ① 本会経営基盤である共販体制ならびに系統利用率の向上に向けた取り組み強化
- ② 計画的な内部留保による財務基盤の強化と会員配当の継続

(2) 企業の社会的責任（CSR※1）活動の実践に向けた取り組み

- ① 経営リスク管理体制の強化
- ア. 市場・販売債権保全管理機能の強化
- イ. 在庫リスク回避のための在庫管理の強化
- ウ. 製品の品質・衛生管理の強化
- エ. 情報管理の強化
- ② コンプライアンス（法令遵守）に向けた体制の整備
- ③ 環境ISO14001（※2）の認証・取得と省エネ法への対応

※1…Corporate Social Responsibilityの略。企業の社会的責任の意味。
※2…ISO（国際標準化機構）による環境に優しい企業を認定するための「環境管理・監査」に関する国際規格。

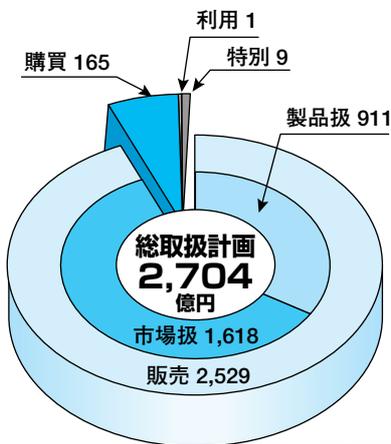
(3) 費用対効果を勘案した設備投資の実施

- ① 老朽化した支店事務所施設の方角付け
- ② 保有資産の維持管理の徹底

(4) 人材育成の強化と教育研修の計画的実施

- ① 計画的な職員の新規採用と適正人員体制の確保
- ② 教育研修制度の見直しと強化
- ③ 関連会社との一体的経営の推進
- ④ 健全経営の確保と本会と一体となった浜に対する機能発揮に向けた取り組み
- ⑤ 関連会社に対する経営統括管理の強化

平成23年度事業別取扱計画



[単位:億円]



福島第一原発放射能汚染水 放水に対して即刻抗議



全漁連服部会長が東京電力勝俣会長に直接抗議
(写真提供:全漁連)



松下経済産業副大臣に抗議する全漁連服部会長
(写真提供:全漁連)

抗議文の全文

福島第一原発放射能汚染水放水に対する抗議

4月4日(月)に、政府は福島第一原発施設内の放射能汚染水を、漁業関係者に一切断りも無く、大量に放出することを決定し実行しました。この暴挙に対し全国の漁協系統団体等(道内は櫻庭ぎよれん会長、平野道漁業環境保全対策本部長、高桑道漁青連会長)は、菅総理大臣、海江田経済産業大臣、鹿野農林水産大臣、清水東京電力(株)社長に対し即刻抗議しました。

4月4日、政府は福島第一原発施設内の放射能汚染水を、漁業関係者に何の相談もなく大量に放水することを決定し実行するという暴挙に出た。

全漁連は、東京電力の関係者に対し高濃度放射能汚染水の海への流出を一刻も早く止め、これ以上の海への流出を行わないことを強く申入れてきたにもかかわらず、国と東京電力はこれを無視し、我が国漁業を崩壊に導く放射能汚染水の放水を強引に実行した。

地震による施設の損壊状況の把握や放水による水の処理等、当然として行わなければならない手立てを何ら行わず、このような重大な事態を引き起こした、国と東京電力の責任は到底許されるものではない。

海で生計を立てている北海道の漁業関係者は、無責任な対応に計り知れない

強い怒りを抱いている。

特に、安全・安心な水産物の安定供給に日頃取り組んでいる北海道の漁業者にとって海が汚染されることは、許しがたい行為である。

我が国漁業を死に至らしめないため、汚染水の放水を一刻も早く中止するとともに、高濃度汚染水の流出防止にあらゆる手を講じなければならない。

今回の国と東京電力の一方的な決定によりなされた暴挙と高濃度汚染水の流出が引き起こすあらゆる問題への対応や、直接、間接を問わず関係者の被る全ての被害に対する補償は、国と東京電力の責任において実施することを直ちに明らかにすることを求める。

平成23年4月5日

北海道漁業協同組合連合会

代表理事会長 櫻庭 武弘

福島第一原発事故に伴う放射能汚染に関し道へ緊急要望



石井道議会議長(写真左)と野呂田道水産林務部長(写真右)への要望の様子

4月7日(木)ぎよれんと環境本部は連名で、福島第一原発事故に伴う放射能汚染に関する緊急要望を道に提出しました。漁業者にとつて海が汚染されることは許しがたい行為であるとともに、風評被害の拡大を懸念されることから、北海道水産物の安全性の確認のため、放射性物質の影響調査について、北海道周辺海域の水質検査等を速やかに行うよう要望しています。なお、この要望を受け道では、船による水質検査を行っています。

【要望内容】

1. 道として放射能被害から、本道漁業を守るべく国に対し強い意思表明をおこなうこと
2. 本道周辺海域の水質検査等を早急に実施し、道として安全性を担保するための体制整備を図ること
3. 情報の共有化を徹底し、風評被害の防止に努めること

東北地方太平洋沖地震 水産被害に関する 道・道議会要望を実施

3月30日(水)、在札漁協系統各連(代表ぎよれん櫻庭会長、信漁連安藤会長)は、東北太平洋地震水産被害に関する要望を行いました。要望団は道議会の石井孝一議長、沖田水産林務委員長等を訪れ、災害復旧に向けた緊急対策支援などを求めました。さらに野呂田水産林務部長と会談、今般の災害に対し、今後とも道・漁協系統と連携して対応することを確認しました。

東北地方太平洋沖地震被害 義援金募金のお願い 「がんばれ漁業募金」

全国のJFグループでは、東北地方太平洋沖地震で被災した漁業者、漁協等の復興を支援するため、「がんばれ漁業募金」として義援金を募集しています。

北海道においても今回の地震災害に遭われた組合員、漁協もおられますので、それぞれの実情を判断の上、ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。募金期間は平成23年5月16日(月)まで、この募金へのお問い合わせは、各漁協までお願いします。

こんにちはは久美子で〜す。

今回は、チカやワカサギ等の風連湖の氷下網漁、ホッキ漁、黒ガレイ漁、鮭定置網漁に従事する、別海漁協の福原さんご家族を紹介します。



魚が網に乗った時の重量感がいい

「船に初めて足を掛けたのは10歳かな」という秀則さん。中学2年の頃から漁業の仕事を手伝うようになり、高校時代は学校を休んだこともあるといいます。漁師となつて31年。「漁業の魅力は一発勝負でしょ。獲ってなんぼの世界だからね」という秀則さんは「魚が網に乗った時の重量感がいい。最後の方にいくと魚がたくさんいる。あーいう感覚はたぶん漁師にしか味わえないと思うよ」と話します。趣味を聞くと「晩酌くらいかな?」という秀則さん。料理を作るのが好きで、



DATA FILE

別海漁協

※ご両親の義巳さん、朝代さんと一緒に

福原 秀則さん (49歳) 直輝くん (16歳)
美代子さん (41歳) 結衣さん (14歳)
拓巳くん (9歳)

海の近くに住みたかった

自分のお酒のつまみになるようなものを自分の分だけ作るのだと笑っていました。



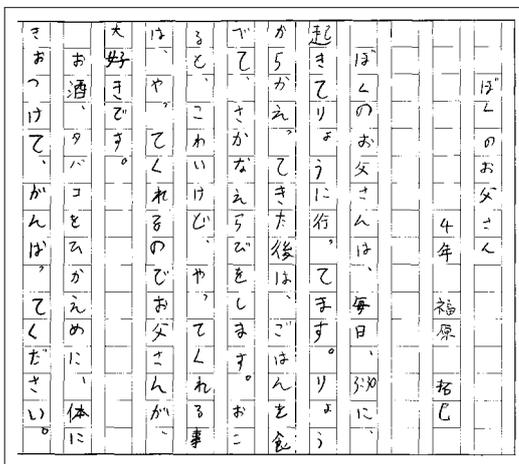
海にて

標茶町出身の美代子さん。高校卒業後、別海の水産加工場に就職したことがきっかけで秀則さんと知り合い結婚しました。「小さい頃から海の近くに住みたかった。海はいいな」と思っていた」といい、夢が叶った美代子さんは「漁業は美味しい魚が食べられるのが良いですね」と話します。高校2年の直輝くんはラグビー、中学3年の結衣さんはバレーボール、小学4年の拓巳くんは野球をしています。秀則さんもラグビーをしていた経験があり、直輝くんはその影響を受けて、少ない人数ながら、頑張っているそうです。

楽しいからやってるんだろっね

現在の体制になる以前には、ほたての船の乗組員をしていたこともあり「この辺の海は全部ほたてで行ってきた。仕事はいろいろやったし、ほとんど経験したね」と話す秀則さん。青年部長を務めた経験があり、その頃の仲間とは今でも付き合いがあるそうです。バブル絶頂期の

良い時代も経験し、当時の話を聞かせてくれた秀則さん。「今は水揚げが減って、金額も上がらず、生活がゆるくなくなってきた。子供達には強制的に跡を継げとは言えないね」という秀則さんですが「でも、楽しいからやってるんだろっね、面白くなかったら、たぶん漁師やってないわ」と話していました。



今号をもちまして、なみまるくんの担当を卒業することになりました。1998年7月号から今号までの約13年間、154世帯のご家族と出会い、貴重なお話を伺うことが出来たことは、私にとって、かけがえのない経験になりました。これからは一読者として、なみまるくんを見守っていききたいと思っています。本当にありがとうございました。

(森久美子)





プレイタイム

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べて下さい。冬枯れの木々が芽吹き、爽やかな風がとても気持ち良い季節になりますね。

タテのカギ

- ① ○○○○の匂う垣根に～夏は来ぬ
- ② Tシャツには無い
- ③ 尾瀬沼の群生で有名な白い花
- ④ ナイヤガラ・イグアス・ビクトリア と言えば？
- ⑤ リモコンで○○○○操作
- ⑧ マニキュアを塗るところ
- ⑨ おヘソと一緒にここも曲がるようです
- ⑩ 陰暦5月の呼び名
- ⑫ 空気はここで分かれて肺に入ります
- ⑬ 50円で日本中どこへでも行きます
- ⑮ 登下校時に靴と履き替えます
- ⑯ 月でお餅つき
- ⑰ オリンピック
- ⑳ いろんな物が売ってます
- ㉑ イチかバチか

ヨコのカギ

- ① 庭の植栽
- ④ 初夏の田んぼの一大イベント
- ⑥ おにぎりには欠かせません
- ⑦ 石頭の人の得意攻撃？
- ⑨ ブラックタイが似合いそうな渡り鳥
- ⑩ 下りは良いが上りが辛い
- ⑪ すぐにメソメソする人
- ⑬ 大変な苦勞で「四苦○○○」
- ⑭ 要点だけメモすること
- ⑯ 勝負は時の○○
- ⑰ 弁解の言葉は「本気じゃなかった」
- ⑲ 活きのいい魚の食べ方
- ㉑ ハンティング
- ㉒ 20才になったら投票できます

1	2		3		4		5
6	○		7	8			
		9				10	
11	12				13		○
	14		○	15			
16			17				18
19	○	20				21	
		22					○

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを進呈いたします。ハガキ、FAXもしくは電子メールに答えと浜のたより及びご意見・ご提言など、住所・氏名・年齢を書き添えて、どしどしご応募ください。

応募いただいた方の個人情報は、クイズ当選者への図書カード進呈と、広報なみまるくん「浜だより」の、おたより掲載（氏名・市町村名）にのみ、使用いたします。

応募先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道漁業協同組合連合会 総務企画部 広報担当
* FAX番号 011-(242)-3543 (5月15日消印有効)
* 電子メール info@gyoren.or.jp

解答 となります。

ア	カ	ハ	ナ	シ	フ
マ	ン	カ	イ	ヨ	サ
レ	ン	キ	ユ	ウ	ス
シ	キ	ン	ブ	タイ	
オ	ハ	グ	キ	ケ	
ヒ	ノ	デ	ミ	チ	ノ
ガ	リ	キ	ジ	コ	イ
リ	リ	ヨ	カ	ン	ケ

4月号の解答と当選者 カフンショウ

- (浜中町) 阿部 栄子さん
- (旭川市) 星 紫月さん
- (新冠町) 小笠原美香さん
- (室蘭市) 橋根 洋行さん
- (函館市) 奥野 貴彦さん

間違いさがし

間違いは6つです。

※右と左の絵には、6か所の異なるところがあります。さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17頁にあります。

なみまる

インフォメーション

Information 1

平成23年度全道漁協新採用職員研修会を開催

新採用職員が共に学んだ3日間

4月5日（火）～7日（木）の3日間、札幌市の第2水産ビルにおいて、平成23年度全道漁協新採用職員研修会が行われ、今年度道内の漁協に採用された職員28名が参加しました。はじめに、ぎょれん本間参事から漁業・漁協をめぐる情勢についての講演があり、続いて漁協のあらましや漁協簿記に関する講義が夕食後まで続きました。2日目は参加者が5つのグループに分かれて、社会人に必要な規律や責任、ビジネス文書の書き方などを学習、「社会人の心構え」に関する課題に、グループで話し合いながら取り組みました。ビジネスマナーの講義では、職場を想定した敬語や言葉遣いを学び、さらに名刺交換やお茶の出し方の練習を通じて、受講者同士の距離が縮まり一体感が生まれました。最終日には早朝に札幌中央卸売市場を見学、その後在札系統団体の事務所を訪ねました。受講した皆さんは、同じ時期に漁協職員となった仲間との親交を深めることも出来、最後に水産ビルの前で集合写真を撮影、充実した研修を締めくくりました。



「学生と社会人の違い」についてグループで考えをまとめました



お手製の名刺を使って名刺交換



研修最終日に水産ビル前で記念撮影



挨拶に訪れたぎょれん事務所では拍手で歓迎されました

Information2

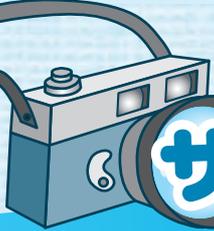
全道各地で地区組合長会議開催

ぎょれんの中期的事業推進方向等を協議

4月6日から13日にかけて、全道各地区で地区組合長会議が開催されました。ぎょれんからは2班に分かれて各地区を訪問、各地区の組合長さんと話し合いを持ちました。会議では、平成22年度決算見込み並びに剰余金処分案、平成23年度から向こう3か年にわたる中期的事業方向、3月に発生した東北地方太平洋沖地震被害への対応、食と水産業再生に向けたJFグループの取り組み、この4月から始まった資源管理・漁業所得補償対策、TPP・規制改革の動向などの議題が上程されました。参加者からは福島第一原発事故による放射能汚染の影響を懸念する声も多く聞かれ、今後の対応などについて意見が交わされました。



ぎょれんを代表して挨拶する櫻庭会長(宗谷地区)



サ

ハ

リ

ン

写

真

紀

行

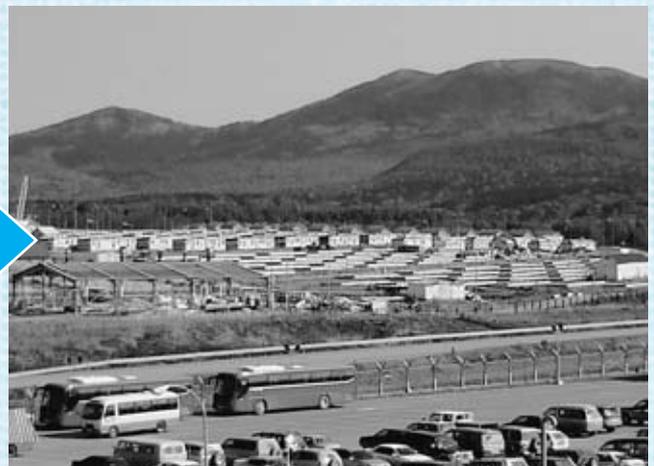
今回はサハリン今・昔をテーマにご紹介します。



かつての日本の工場を利用した発電所です。



郊外を走る列車。



2年前訪れた時には、原油積出施設工事の最中で、工事従事者用の社宅でした。完成した現在では、サハリン州に寄贈するため移設工事中です。



(株)ぎょれん設計センターが住宅に関するベストアドバイス!

なまがせ設計センター

**グッドジョブ
「プロの仕事」**

前回に引き続きぎょれん設計センターが手掛けた最新の作品をご紹介します。

詳しく
取り上げて
行きま〜す。

利尻漁協冷蔵施設・購買店舗・昆布集荷施設

利尻漁協がある利尻富士町では、平成16年より鴛泊市街地の整備計画を立て、市街地の道路港湾等の整備を進めてきました。「安全で安心して暮らせる快適な生活環境のまち」というスローガンのもと、その整備の一環として組合施設が新築されました。冷蔵施設、購買店舗は組合本部に隣接して建てられ、コンブ集荷施設は旧購買店舗近くに建てられました。

これらの施設を建設するにあたり、ぎょれん設計センターでは設計・監理を担当しています。

〈冷蔵施設〉



〈建設地〉

・利尻郡利尻富士町鴛泊字港町

〈冷蔵施設〉

- ・鉄骨造2階建 延面積 852.85㎡
- ・冷蔵庫1 (-25℃) 公称550 t
- ・冷蔵庫2 (-35℃) 公称40 t
- ・凍結庫 4.8 t 2室

〈購買店舗〉



・鉄骨造2階建 延面積 406.92㎡

〈コンブ集荷施設〉



・鉄骨造平屋建 延面積 252.00㎡

浜の皆さんから「おうち」の疑問、質問、お悩みを募集しています。

宛 先：札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん総務企画部広報担当
F A X：011-242-3543
メール：info@gyoren.or.jp

建築・設計に関するご相談は

(株)ぎょれん設計センター
TEL：011-281-8509

From Readers
浜だより

先月号(4月号)の表紙が風景に変わったので、驚いた方もいらっしゃるかもしれませんが、今月から再び浜の皆さんにご登場いただくコーナー復活です。これからも浜の皆さんの素敵な笑顔をたくさん届けたいと思いますので、改めてよろしくをお願いします。(編集部)

東 北関東大震災で被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。港も船もすべて被害を受け復興には時間がかかる事でしょう。少しでも早く復興され、以前のようににぎやかな声が聞こえるようになるために頑張っていたきたいと思います。微力ながら協力したいと思えます。(浜中町 阿部 栄子さん)

花 粉症の季節ですね。私もひどいですが、早め早めにアレルギーの薬を飲んでらっしゃいます。(島牧村 高島 里子さん)

長 びとが終わり、すずやく浜にも釣客や漁に出る船で活気が出てきました。(小樽市 宮古 登美子さん)

東 北地震の影響でこちらも大変ですが、少しずつ復旧してきています。まだ大変な地域も必ずこの先復旧されます。希望を捨てずに頑張ってください。(浜中町 小山西 智子さん)

お 天気はいいですが、風は冷たいです。花畑の福寿草が咲きました。元気なお花ですね。きれいな色は変わりなく楽しませてくれてます。表紙の写真がニコニコ家族から風景写真に変わりました。雪を抱いた山に1羽の力モメ、自然と見とれてしまいます。今年はこの写真に負けぬ写真に挑戦?4月末はコウナゴの時期、豊漁を願っています。(島牧村 泉谷 泰三さん)

東 日本大震災はまだまだ余震もあって大変です。北海道にとっても泊原発と青森の大間原発がありますから、とても他人事ではありません。(函館市 佐藤 恵美子さん)

わ が初山別漁協もホタテ稚貝の出荷作業が10日から始まりました。私も微力ながらアルバイトに行っています。この作業が始まると「春だなあ」と毎年感じます。(初山別村 白府 美恵子さん)

息 子が大きくなってから出していない五月人形を今年は出してみようかと思っています。空を泳いでいるこのほりと五月人形で春だなあとウキウキしたのを思い出しています。(利尻富士町 中西 寛子さん)

3 月11日から1ヶ月経ってもまだ余震もおさまっていないし、原発の問題も山積みですが、春は来ますね。そして夏も秋も必ず来ます。なんとか自然の恵みを味方につけられるといいですね。(新冠町 小笠原 美香さん)

稚 貝の出荷が始まりました。朝からお父さんとお母さんは忙しいそうです。休みの日にはお手伝いをしています。みなさんもお仕事がんばってください。(苫前町 加藤 亜美さん)

今 回の津波で皆さんも少なからず被害に遭われたようですが、我が家は家族と家は幸いにも無事でした。これからも漁業者としての誇りを胸に前を向いて頑張ろうと思っています。(室蘭市 橋根 洋行さん)

マ ガレイの刺網漁が今、最盛期です。(小樽市 宮古 知行さん)

13pの間違ひさがしの答え

親子船 慣れた海でも 気を引き締めて

(社)北海道漁船海難防止・水難救済センター

とぎ汁で海を汚さない、おいしい無洗米です。

大漁御膳

ホクレン きまれん

無洗米「大漁御膳」のお求めは、お近くの漁業協同組合へ

専門のノウハウ 浜に密着した機動力

漁業資材・施設設備で北海道の浜をサポート

マリノサポート株式会社

本社 TEL (011) 261-0884 函館支店 TEL (0138) 22-4146 釧路支店 TEL (0154) 41-7145 長万部営業所 TEL (01377) 2-4118

なるほど!簡単!



浜料理

えび餃子



レシピ

【材料】(4人分)

- ・なんばんえび(小)・・・30尾
- ・にら・・・1/4束
- ・塩・こしょう・・・少々
- ・片栗粉・・・少々
- ・餃子の皮(大)・・・12枚
- ・餃子のたれ・・・適量

【作り方】

- ① えびを包丁のみねで食感が残る程度に細かくし、にらはみじん切りにする。
- ② 切った食材と、塩・こしょう、片栗粉をよく混ぜる。
- ③ 皮に包む。
- ④ 油をひいたフライパンでこんがり焼く。

えびのぷりぷり感が楽しめる一品

今回は「えび餃子」をご紹介します。餃子の中身に小ぶりのなんばんえびを使用しますが、ぷりぷり感を残すように細かすぎずたたくのがコツです。留萌特産のなんばんえびの風味と食感が楽しめる一品です。



新星マリン漁協
木村 貞子さん



脱炭で未来につなぐ北の森
本書の本文用紙は原料の一部に
道産関係材を使用しております。

北の魚情報がぎゅっしり!北海道ぎょれんウェブサイト
www.gyoren.or.jp/